

中国における MDGs の進展状況

報告 : 金丹

はじめに

一 国連機関の活動

▲ 2004 年 国連国別共通アセスメント (Common Country Assessment、CCA) ——

中国のミレニアム開発目標が直面している挑戦——

- ・ バランスのとれた経済成長と社会発展及び不平等の減少を実現
- ・ 環境保護と資源の持続可能性の側面
- ・ 教育普及の側面
- ・ 保健衛生の側面
- ・ HIV/エイズ対策の側面
- ・ 中国と国際社会との関係の側面

▲ 2006 年—2010 年 UNDP<2006-2010 年国別開発援助フレームワーク>

- ・ 2006 年 1 月 今後 4 年間で対中国開発援助の主要内容と目標を明らかにした。

- ・ 援助の中心：

MDGs 目標実現と貧困減少

環境資源の持続可能な発展

HIV/エイズその他の伝染病に関する対策

- ・ 今後の 5 つの目標：

社会と経済のバランスのとれた発展を促進するための政策的サポート

措置と能力建設を通じて、政策執行の効率性と公正性を促進

自然資源の有効な利用を強化

HIV/エイズに関する対策を強化

国際舞台における中国の役割強化のサポート

- ・ UNDP はミレニアム宣言と MDGs を基に多方面にわたる自身の影響力と社会的責任を活用して、中国の各優先的領域の建設を推進している。

2007 年時点、中国全土で 70 の援助プロジェクトを実施

二 中国における MDGs の現状—2008 年版「中国における MDGs 進展状況報告書」

1. 報告書の概要

- ・ 2008 年 9 月 24 日「中国における MDGs 進展状況報告書 (2008)」国連本部で発表
中国外交部、国連駐中国機構 作成
- ・ 改革開放 30 年間の経済発展

小康社会建設の目標と MDG s

- ・ 中国は MDG s の実現に向けて積極的に取り組み、期限より先に、貧困人口の割合を半減する目標と、初等教育を普及するという二つの目標を実現し、その他の目標も期限内に実現可能である。

2. 目標別の状況

(1) 極度の貧困と飢餓の撲滅

- ・ 中国政府の貧困基準によると、中国農村の極度の貧困人口は：
1990年 8500万人（農村人口の9.6%）——>2007年 1479万（農村人口の1.6%）
国連基準（1ドル以下基準）——中国は期限より早く目標達成

(2) 普遍的な初等教育の達成

- ・ 2007年末まで、小学校純入学率 99.5%、 中学校入学率 98%
全国9年義務教育普及率 99.3%
——>教育普及の目標達成

(3) ジェンダー平等の推進と女性の地位向上

- ・ 2006年 全国女性就職人数 3.47億人、就職人口総数の45.4%
女性の参政比率 高くなる 全国人民代表大会議席の21.3%
アジア平均より3%高い水準
- ・ 2007年 小学男女入学比率 99.46%と 99.52%
——>小学校で男女格差をなくす目標達成；
2015年まですべての教育段階で男女格差をなくす目標実現可能

(4) 幼児死亡率の引き下げ

- ・ 幼児死亡率 1991年 50.2‰ →2007年 15.3‰
5歳以下児童死亡率 1991年 61‰→ 2007年 18.1‰
——>3分の2引き下げる目標達成

(5) 妊産婦の健康状況の改善

- ・ 妊産婦の死亡率 1990年 10万人あたり 94.7人→ 2007年 36.6人に引き下げた。
——>2015年まで4分の3引き下げる目標実現可能

(6) HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止

- ・ 2007年末まで、推定70万人が HIV/エイズに感染の疑い； 全体的感染率の0.05%
——>全般的状況は不確定で、一定の困難もあるが、目標実現に向け着実に前進している。
マラリアやその他の肺結核などの疾病に関する目標も実現可能に

(7) 環境の持続可能性の確保

- ・ 森林カバー率 1990年 13.92%→ 現在 18.21%
農村 安全な飲料水を確保できない人口 2000年 3.79億人→2007年 2.51億人
2006年—2010年 1.6億人が安全な飲用水を確保可能
——> 目標を超える可能性

- ・ 経済発展による環境への悪影響により生物の多様性に大きな脅威を与えている。

(8) 開発のためのグローバル・パートナーシップの構築

- ・ 中国 南南協力の枠組内で、発展途上国の発展を支援
2000年以降対外援助規模を拡大
2005年 発展途上国に対する五つの措置
2006年 中国—アフリカ協力フォーラム

三 今後の課題

- ・ 中国における MDGs ——成果は大きい、発展がもたらす挑戦も多い。
2015年まですべての目標は実現可能であるが、注意すべき点も多い。
- ・ ジェンダー平等、女性の権利保障
HIV/エイズの蔓延の防止；
環境資源損失の防止
発展に伴う新しい問題——
都市と農村の格差
地域格差
経済と社会、人口と資源環境の調和などの問題